

【一】 次の史料をみて、後にある各問いに答えよ。

I

冬十月、a 百濟の聖明王、……釈迦仏の金銅象一軀、幡蓋若干、経論若干巻を献る。……乃ち群臣に歴問して曰く、「b 西蕃の献れる仏の相貌端嚴し。全ら未だ曾て有ず。礼ふべきや不や」と。A 奏して曰さく、「西蕃の諸国、一に皆礼ふ。豊秋日本、豈独り背かむや。」と。B、中臣連鎌子、同じく奏して曰さく、「c 我が国家の、天下に王とましますは、恒に天地社稷の百八十神を以て、春夏秋冬、祭拝りたまふことを事とす。方に今改めて蕃神を拝みたまはば、恐るらくは国神の怒りを致したまむ」と。

問1 下線部 a と同時期に東アジアに存在していた国として、適切でないものを次から選び、記号で答えよ。＜観点 b＞

- ア 新羅 イ 渤海 ウ 唐 エ 高句麗

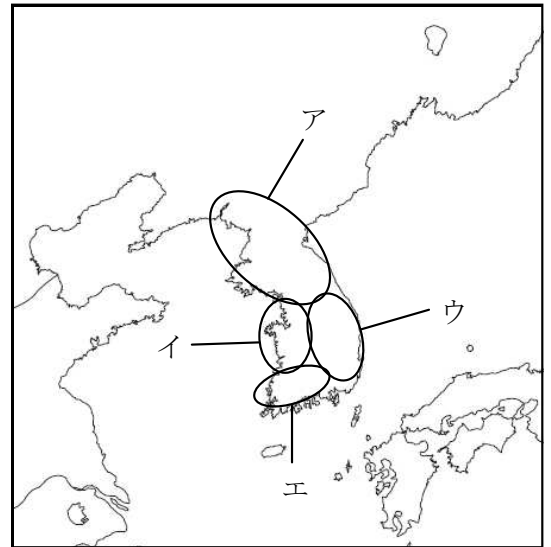
問2 下線部 a の場所を右の地図より選び、記号で答えよ。＜観点 c＞

問3 下線部 b を発言した天皇を次から選び、記号で答えよ。＜観点 d＞

- ア 仁徳天皇
イ 継体天皇
ウ 欽明天皇
エ 推古天皇

問4 文中の A B に当てはまる適切な人名の組み合わせを次から選び、記号で答えよ。＜観点 d＞

- ア A－蘇我大臣稻目 B－物部大連尾輿
イ A－蘇我大臣馬子 B－物部大連守屋
ウ A－物部大連尾輿 B－蘇我大臣稻目
エ A－物部大連守屋 B－蘇我大臣馬子



問5 下線部 c の意識として適当なものを次から選び、記号で答えよ。＜観点 c＞

- ア 我が国の神はいつでもどこでもいるので、お祭りを行えば改めて気に掛けたりする必要はない。
イ 我が国にはたくさんの神がいるので、異国の神を祀っても代々の神は怒りはしない。
ウ 我が国の神は百八十代目であり伝統あるので、異国の神を恐れたりはしない。
エ 我が国には代々の神がいるので、異国の神を祀ると代々の神の怒りを買う。

問6 史料 I は『日本書紀』の記事である。このできごとがあった年を西暦で次から選び、記号で答えよ。＜観点 d＞

- ア 512 年 イ 538 年 ウ 552 年 エ 593 年

問7 史料 I のできごとの後に出された天皇の命として、適切なものを次から選び、記号で答えよ。＜観点 b＞

- ア 仏像は即座に百濟へ返却された。 イ 仏像は即座に焼却された。
ウ 仏像は試みに物部氏に与えられた。 エ 仏像は試みに蘇我氏に与えられた。

【二】 次の史料をみて、後にある各問いに答えよ。

II

(a 天平十五年)冬十月辛巳、詔して曰く、「……ここに天平十五年歳次癸未十月十五日を以て、菩薩の大願を発して、b 廬舎那仏の金銅像一軀を造り奉る。……それ天下の富を有つ者は c 朕なり。天下の勢を有つ者も朕なり。この富勢を以て、この尊像を造る。事や成り易き、心や至り難き。……もし更に、人情に一枝の草、一把の土を持ちて像を助け造らむと願ふ者有らば、恣に聴せ。……」と。

問1 下線部 a の年を西暦で次から選び、記号で答えよ。<観点 d>

- ア 710 年 イ 723 年 ウ 743 年 エ 794 年

問2 下線部 b を現在本尊としている寺院名を次から選び、記号で答えよ。<観点 d>

- ア 法隆寺 イ 東大寺 ウ 広隆寺 エ 薬師寺

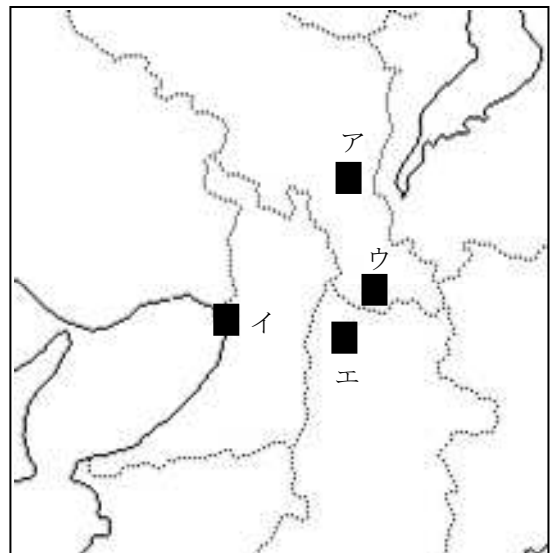
問3 下線部 b の鑄造に協力し、後に大僧正となった僧を次から選び、記号で答えよ。<観点 d>

- ア 空也 イ 行基 ウ 道鏡 エ 鑑真

問4 下線部 c が在位中に都を置いた場所として**あてはまらないもの**を右の地図から選び、記号で答えよ。<観点 c>

問5 下線部 c が在位中に起きたできごととして**適切でないもの**を次から選び、記号で答えよ。<観点 b>

- ア 長屋王の変が起こる。
イ 天然痘が流行し、藤原四子が没する。
ウ 藤原広嗣の乱が起こる。
エ 恵美押勝の乱が起こる。



問6 史料IIと同じ年に出されたものを次から選び、記号で答えよ。<観点 c>

- ア 聞かなく、墾田は養老七年の格に依りて、限満つる後、……。今より以後は、任に私財と為し、三世一身を論ずること無く、咸悉くに永年取る莫れ。
イ 推古天皇十二年夏四月丙寅の朔戊辰、皇太子、親ら肇めて憲法十七条を作りたまふ。
ウ それ往生極楽の教行は、濁世末代の目足なり。道俗貴賤、誰か帰せざる者あらむや。
エ 筑紫国造磐井、陰かに叛逆くことを謀りて、猶預して年を経。……新羅、是を知りて、密に貨賂を磐井が所に行りて、勸むらく、毛野臣の軍を防遏へよと。

問7 史料IIのできごとは、以下のできごとを含めて古い順に並べ直したときに何番目にくるか、記号で答えよ。<観点 b>

【 長岡京へ遷都される 宇佐八幡宮神託事件が起こる 和同開珎が発行される 】

- ア 1 番目 イ 2 番目 ウ 3 番目 エ 4 番目

問8 下線部 b の開眼供養が行われたときの天皇を次から選び、記号で答えよ。<観点 d>

- ア 持統天皇 イ 文武天皇 ウ 聖武天皇 エ 孝謙天皇

【三】 次の史料をみて、後にある各問いに答えよ。

Ⅲ

勅有りて、参議右衛士督^{うゑじのかみ} 従四位下 a 藤原朝臣緒嗣^{ちよく}と参議左大弁正四位下菅野朝臣真道とをして、天下の徳政を相論せしむ。時に緒嗣、議して云く、「方今^{いま}、天下の苦しむ所は b 軍事と c 造作^{とど}となり。此の両事を停めば百姓安んぜむ」と。真道、異議を確執^あして肯えて聴かず。 d 帝、e 緒嗣の議を善しとし、即ち停廢に従ふ。

問1 下線部 a は藤原式家の人物である。下線部 a に関係する人物について述べた文として誤っているものを次から選び、記号で答えよ。〈観点 b〉

- ア 父の百川は、天武系の皇統に代わる天智系の天皇の擁立に活躍した。
 イ 伯父の広嗣は、九州で反乱を起こしたが敗れて刑死した。
 ウ 従兄の種継は、平城京からの遷都に尽力したが暗殺された。
 エ 甥の冬嗣は、菓子の変(平城太上天皇の変)の首謀者として処刑された。

問2 下線部 b が指す具体的な政策を次から選び、記号で答えよ。〈観点 d〉

- ア 東北地方の蝦夷との戦い イ 唐・新羅連合軍との戦争
 ウ 北九州の警備施設増強 エ 東国武士団の反乱鎮圧

問3 下線部 c が指す具体的な政策を次から選び、記号で答えよ。〈観点 d〉

- ア 天皇の墓の造成 イ 神社仏閣への寄進
 ウ 新田の開墾 エ 平安京の造営

問4 下線部 d として適切な人物を次から選び、記号で答えよ〈観点 d〉

- ア 称徳天皇 イ 光仁天皇 ウ 桓武天皇 エ 嵯峨天皇

問5 下線部 e で、藤原緒嗣の意見に対してどうしたとあるのか、適切なものを次から選び、記号で答えよ。〈観点 c〉

- ア 「軍事と造作をやめるべき」という意見に同意せず、すぐに彼を追放した。
 イ 「軍事と造作をやめるべき」という意見に同意し、すぐに計画をとりやめた。
 ウ 「軍事と造作を実行すべき」という意見に同意せず、すぐに彼を追放した。
 エ 「軍事と造作を実行すべき」という意見に同意し、すぐに計画を実行した。

<解答>

【一】 問1:イ 問2:イ 問3:ウ 問4:ア 問5:エ 問6:ウ 問7:エ

【二】 問1:ウ 問2:イ 問3:イ 問4:ア 問5:エ 問6:ア 問7:イ 問8:エ

【三】 問1:エ 問2:ア 問3:エ 問4:ウ 問5:イ 各1点(合計20点)

<観点 a/関心・意欲・態度、観点 b/思考・判断・表現、観点 c/技能、観点 d/知識・理解>